

～隣接歯間の距離が狭い症例にも対応する新たなソリューション～

「Straumann® Bone Level Implant チタンテンポラリーアバットメント」を新発売

歯科用インプラント(人工歯根)等の輸入販売を行うストローマン・ジャパン株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 ヨルグ・デュッペンター)は、2013年3月4日より「Straumann® Bone Level Implant チタンテンポラリーアバットメント」を発売いたします。

「Straumann® Bone Level Implant チタンテンポラリーアバットメント」は Straumann® ボーンレベル インプラントのテンポラリー修復用のアバットメントです。材質は強度の高いチタン合金で、機械的維持力を付与した形態のクラウン用とブリッジ用の2種類があります。また、径が細いことにより(φ3.2mm/φ3.4mm)、隣接歯間の距離が狭い症例への対応も可能となり、これまで以上に適用の幅が広がります。

ストローマン・ジャパンは一貫したエマージェンス プロファイルを付与する本製品の発売により、ストローマンの純正製品であるインプラントとアバットメントを組み合わせることで最適なコネクションを実現する、“Original on Original”を推進し、高品質の製品の提供に取り組んでいきます。

製品の特長と仕様

- 容易なテンポラリー修復
- クラウンおよびブリッジに対応
- 180日間までの口腔内使用が可能
- 一貫したエマージェンス プロファイルを実現
- CrossFit®コネクションによる高い信頼性

NC(ナローCrossFit®)用		
NC チタンテンポラリーアバットメント クラウン用(スクリュー付)	φ3.2mm 長さ 11.0mm	
NC チタンテンポラリーアバットメント ブリッジ用(スクリュー付)		
RC(レギュラーCrossFit®)用		
RC チタンテンポラリーアバットメント クラウン用(スクリュー付)	φ3.4mm 長さ 11.0mm	
RC チタンテンポラリーアバットメント ブリッジ用(スクリュー付)		

・チタン合金にアレルギーのある患者様には使用できません。
 ・本製品は未滅菌の状態での納品されます。再使用はできません。

販売名: テンポラリーTi アバットメント

分類: 高度管理医療機器

承認番号: 22500BZX00025000

<製品に関するお問合せ先>

ストローマン・ジャパン株式会社 TEL 0120-418-995

<本リリースに関するお問合せ先>ストローマン・ジャパン株式会社

広報担当: 井上 久子(TEL: 03-5218-2812)

■ ストローマン・ジャパン株式会社について

<会社概要>

所在地: 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー16 階
設立: 2007年8月
代表取締役社長: ヨルグ・デュッペンターラ (Joerg Duppenenthaler)
従業員数: 約120名
事業内容: 医療機器の輸入販売、歯科医療に関する情報提供サービス、
歯科医療に関する技術トレーニング・セミナーの開催等
取扱製品: 歯科用インプラント(人工歯根)およびインプラント治療製品
歯周組織再生用材料およびその他歯科用医療機器
医療機器製造販売業 第一種医療機器製造販売業許可番号:13B1X10163
営業拠点: 北海道・東北／関東／中部／関西・四国／九州・中国
HP: <http://www.straumann.jp>

■ ストローマン・グループについて

ストローマンは本社をスイスのバーゼルに置く、インプラント歯科、修復歯科および口腔組織再生におけるグローバルリーダーです。ストローマンは世界の主要なクリニック、研究機関、大学と連携して、歯の置換・修復・再生を目的とした歯科修復ソリューションのためのデンタルインプラント、インスツルメント、補綴物や口腔組織再生製品の研究、開発、製造に従事しています。ストローマンの従業員数は世界で約2450人、幅広いネットワークを通して70カ国以上で製品とサービスを展開しています。

免責事項

本プレスリリースには、「将来予測に関する記述」が含まれます。これらの将来予測に関する記述は、経営陣の現時点での判断に基づくものであり、既知または未知のリスクや不確実性その他の要因によって、グループの実際の成果や業績が、予想されたものと異なる可能性を含むものです。この要因には、ストローマン製品の成功や需要、製品の旧式化の可能性、グループの知的財産の保護能力、新製品の開発と製品化、競争環境、法規制、為替レートの変動、またグループの人事判断や、収益と利益の確保、事業の適時な拡大判断、取引関係の維持、などに関するリスクがあります。これらのリスクや不確実性のいくつかが現実となった場合、またはもととなる仮定が不適切であった場合、現実の結果が本内容とは異なる場合があります。ストローマンは、発表日現在の情報を本プレスリリースで提供しており、新たな知見、今後の出来事等によるか否かを問わず、将来予測に関する記述について更新する義務を負うものではありません。